

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

2023年 7月 29日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

東京都中央区京橋三丁目1番1号

株式会社 ブリヂストン

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

代表取締役CEO 石橋 秀一

代理人 彦根工場 工場長 中村 真人

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 第21条第1項
第22条第2項において準用する同条例第21条第1項の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）	株式会社ブリヂストン 代表取締役 CEO 石橋 秀一
事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	東京都中央区京橋三丁目1番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社 ブリヂストン 彦根工場					
事業所の所在地	滋賀県彦根市高宮町 211 番地					
主たる事業	細分類番号	1	9	1	1	自動車タイヤ・チューブ製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	2021年度 ～ 2030年度
報告対象年度	2022年度

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	運用改善 対策	改善目標の設定及び改善計画の作成	
2		大口工程の格付 (大口工程とは、彦根工場でのエネルギー使用量の80%以上を占める上位工程を指す)	実施中
3		工程毎削減目標の設定	実施中
4		省エネルギー改善計画の作成と実施	実施中
5		i-stop1000*の計画と実施	実施中
6		フォロー	
7		全体原単位達成状況(1回/月)	実施中
8		事務局(設備課)による大口工程個別巡回 (1回/月)	実施中
10	設備導入	RE100準拠のクリーンエネルギー調達	実施中
11	改善	自家発電(太陽光)設置推進	2023年～

※i-stop1000 : 設備関連の省エネ活動を国内タイヤ10工場で各100施策、合計1000施策の積み上げを目指す活動

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果 ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1	HFCs	フロン排出抑制法に基づくフロン機器の簡易・定期点検の継続と補修、ノンフロン機器への更新継続	実施中

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

2022年度においては、エネルギー改善量原単位 ▲1%以上相当の省エネ改善の目標に対し、前年度比+12.9%[省エネ管理実施計画より]で目標を未達成。原因として、生産量減少に伴う原単位悪化に伴う。引き続き、各省エネ活動を展開することで目標達成の継続を目指す。

※エネルギー改善量原単位の定義

(エネルギー改善量原単位) = (エネルギー改善量^{※1}) / (新ゴム生産量^{※2})

※1 各工程でのエネルギー改善量の合計

(スチーム・エア漏れの補修等、省エネ活動をエネルギー量に換算)

※2 彦根工場での生産ゴム量

(第2面)

2 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組の実施状況等

(1) 取組の実施状況

取組の内容	取組の実施状況
<p>・商品のライフサイクル、バリューチェーン全体を通じた削減促進に向けて、生産におけるCO2排出削減にとどまらず、断トツの商品・断トツのサービスによるソリューションにより顧客価値を提供しながら、お客様の使用時、原材料調達、流通、再利用・リサイクルの過程におけるCO2排出量削減に貢献しています。</p>	<p>・彦根工場において環境対応商品であるECOPIA等、低燃費タイヤを生産中</p> <p>・RE100準拠のクリーンエネルギー調達</p> <p>・廃棄物の売却による有効利用の拡大</p>

(2) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>・低燃費タイヤ生産、RE100準拠のクリーンエネルギー調達、廃棄物の売却による有効利用の拡大の活動により、排出するCO2排出量の削減に貢献できている。</p>
--

(第3面)

3 その他の低炭素社会づくりに向けた取組の実施状況等

	取組項目	取組の内容および 当該取組により達成しようとする目標	取組の実施状況等
1	森林保護活動	<p>■エコピアの森 彦根</p> <p>滋賀県と「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結し、荒神山の一部の森林の整備を行っている。</p>	2022年12月開催 彦根市関係者、従業員とその家族 計 107 名参加
2	3R 推進	<p>廃棄物の分別回収およびリサイクル可能な処理先へ搬出を実施することで、完全ゼロエミッションを継続中。また、廃棄物の中でも有価物としてリサイクル可能な品目については、サーキュラーエコノミーの観点から素原料リサイクルおよび外販を推進している。</p>	継続実施中
3	紙削減	<p>基準年（2020年）対比 30%の紙資源の削減を目標にコピー用紙使用の削減を推進中。</p>	継続実施中 2022年は2020年対比約 18%削減
4			
5			
6			
7			
8			